

# みやぎ防災円卓会議 総会



本年度の活動方針などを決めた総会

## 事業 深化させ発信

いのちと  
地域を  
守る

東日本大震災の教訓の伝承と防災啓発の強化を目指す連携組織「みやぎ防災・減災円卓会議」は20日、仙台市青葉区の河北新報社で本年度の総会を開き、活動方針などを決めた。

関わり方を整理するほか、連携の枠組みを活用して発信を強化することも確認した。登録は90団体180人に拡大し、総会には約60人が出席した。世話人の今村文彦東北大災害科学国際研究所長は「災害の姿は日々変化する。私たちの対応はその変化を超えてなくてはならない。議論を深め、災害への備えを進めていこう」とあいさつした。

「みやぎ『災害とメディア』研究会」の活動を通じ、報道、研究両機関の連携を強化していくことも確認。地域ニーズを踏まえた新たな取り組みも議論する。

円卓会議は2015年4月に発足。県内の大学や企業、町内会、報道機関など45団体70人の登録で開始し、後に沿岸部の被災市町が加わった。毎月1回例会を開催し、活動の共有や情報交換を進める。円卓会議事務局は河北新報社防災・教育室。連絡先はメール [ntaku@po.kahoku.co.jp](mailto:ntaku@po.kahoku.co.jp)

発信強化策の一環では、競技を通して防災意識を高める「防災運動会」を6月23日、宮城教育大(青葉区)で開催することを決めた。